

## 身近な疏水への思い ～子どもたちと花見川での活動～

環境パートナーシップちば代表 **桑波田 和子**

### 環境パートナーシップちばの概要

当会は、環境保全活動を市民・企業・行政とのパートナーシップで推進することを目的とし、平成9年に設立されました。会員は主に県内に在住のため、千葉県内で活動しています。主な活動は、印旛沼流域での「印旛沼をきれいにする活動」、環境活動見本市「エコメッセちば」の事務局、学校、公民館などでの県民を対象とした環境学習などです。

「印旛沼をきれいにする活動」は、地域の自然、文化、歴史、暮らしなどを知り、水質改善の啓発を目的に、印旛沼流域で水質調査、植物や生き物調査、エコウォーキング、ゴミ拾いなどの活動で、子どもから大人まで多くの方とともに実施しました。

当会ホームページ：<http://kanpachiba.com/>



ガールスカウトと花見川エコウォーキング

### 東京湾から印旛沼までのエコウォーキングマップ

印旛沼の水は、流域から流れる水と利根川からの取水とともに、飲料水、工業用水、農業用水等として利用され、県民の水瓶です。飲料水としては、千葉県民(約600万人)のうち、約150万人(主に千葉市・浦安市他)が利用しています。ただし、飲料水としての水質は、全国でワーストの上位にあり、県民にとっても大きな課題です。そこで、水質改善に向けて、市民・行政・企業など流域市町で活動を展開しています。

以上の状況を踏まえ、当会は、子どもや大人が流域の河川に関心を持ち、地域を愛することで印旛沼の水質改善につなげたいと、東京湾から印旛沼までを実際に歩き「わたしの東京湾から印旛沼までのエコウォーキングマップ」を作成し活用しています。



「わたしの東京湾から印旛沼までのエコウォーキングマップ」  
※ メモ書きコーナーが特徴

## 花見川

花見川は、印旛沼の排水を目的として開削された印旛放水路(疏水)で、西印旛沼の流出点から千葉市美浜区の東京湾に注ぐ約 19 キロメートルの水路です。花見川は江戸時代に、印旛沼の洪水対策と干拓を目的に掘削されましたが、失敗に終わりました。大和田排水機場ができ、1969年に現在の印旛放水路は完成しました。千葉市内の小学校では、この掘削の歴史などを副読本として学んでいます。また、景観も良く地域内外の市民に愛されている疏水です。

### 子どもたちとの活動 1 (花島公園周辺)

千葉市花見川区周辺の小学生(3年生以上)と夏休みに、「花見川探検・発見・宝探し」等のテーマをあげ、40人～50人くらいで活動をしてきました。花島公園では植物・生き物探し、公園近くの花島観音では掘削の歴史・文化にも触れます。花見川は水辺まで近づけないため、橋の上から水を汲み、水質調べをします。また、千葉県下水道公社の協力による下水処理の模擬実験も子ども達には、大変好評です。



花見川生き物調べ



下水処理模擬体験

### 子どもたちとの活動 2 (大和田排水機場、柏井浄水場、下水処理場他)

大和田排水機場では、印旛沼の水が花見川に放水され東京湾へ流れていくこと、柏井浄水場では、飲料水となるまでの過程を学びます。花見川河口の下水処理場では、私たちの家から流した水が下水処理され東京湾へ流れることを学びます。水が生まれ、活用し、処理してまた活用していく水循環について、学ぶ場となります。



大和田排水機場(放水開始)

### 気になる課題

花見川の水辺には、ナガエツルノゲイトウ(特定外来生物)が生息しています。印旛沼流域でも広く繁茂し、在来植生への影響、景観、農業への支障など課題があります。

当会は、花見川を大切に思い、地域の財産にするため、子どもから大人まで多くの人と連携・協働し活動を展開していきます。



花見川岸辺：ナガエツルノゲイトウの繁茂